

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅱ	2	後期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の精神習得の出口の部分を担当しているため、キリスト教学Ⅰの聖書の学びから発展させ、幅の広い教養を身につけるため、多岐に渡る内容のキリスト教芸術と文学に触れ、視野を広げる授業展開を行った。また、授業以外のチャペルの参加も評価に取り入れ、授業外でキリスト教に触れる体験の機会を設けた。</p> <p>②毎回の授業中に記入するポートフォリオでの学びの確認だけでなく、チャペルポートフォリオを導入し、毎回のチャペルのまとめを記入するようにした。</p> <p>③後半で行うグループ発表の機会は、学生の関心にあわせて展開し、様々な角度からキリスト教について学びあう事ができた。</p> <p>④学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、2年間のキリスト教の学びの集大成をひとつの文章としてまとめる作業を行った。これによって、学生が聖書やキリスト教教育の学びから何をうけとり、卒業していくのが良く見えるようになった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、自分なりの目標を達成した、に関しては4.3ポイントであった。到達度の自己評価の平均値は(4.3)。トータル成績の平均値は約80%以上。チャペルの出席率約85%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言えよう。</p> <p>また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、90%以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたとのことから、全体をとおして教育目標が達成されたと言えよう。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「キリスト教学Ⅰ」の学びを踏まえ、展開している。聖書の学びを前提としての発展的な学びであるが、全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であるとする。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察し、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、昨年同様学生たちが意欲的に取り組み、講義だけでなく、グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったとする。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価についての平均値は(4.5)であった。数年前より、チャペルポートフォリオを導入したことは、チャペル出席へのサポートとなった。チャペル出席はキャンパスライフにもあるように、1年間をとおして3分の2の出席を必要としている。キリスト教学がない2年生前期のチャペル出席についてもチャペルポートフォリオを導入し、遠隔であっても出席を促すことができた。</p> <p>本講義は、キリスト教に興味関心のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.5であったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。また、「ナルニア国ものがたり」を中心に聖書の解き明かしをする本講義については、学生のコメントにあるように、興味関心を持ちつつ学ぶことができているため、引き続き内容を深めていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の集大成として学ぶ科目であるが、キリスト教学Ⅰを発展的に展開していく上で、Ⅰでの学びが重要である。Ⅰの復習もⅡでの講義に加えつつ、学生が中心となって行うディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。授業の最後に記入するポートフォリオやチャペル出席に加え、チャペルポートフォリオを導入し、さらに関心あるテーマについてグループで調査・発表し、最後に「感恩奉仕」とは自分にとってどのような意味を持つか、考察する時間を設けた。今後は、卒業後も聖書を自ら読めるように促す工夫をしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
スポーツ実技	1	通年	選択	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学年は1年生（通年）であり、今後資格を取得するために、自己の体力について把握することは大切である。また、授業だけではなく卒業後も生涯スポーツとして運動を続けてもらうために、さまざまな競技を行いルール理解や技術習得ができるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は92.2点（S-34、A-14、B-1）である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「一般教育科目」における「女性と健康」に位置づけられており、資格取得に必要である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

体力測定を前期の4月と後期の1月に行うことにより、学生自身が1年間の体力の変化を把握できるようにした。また、さまざまな競技においてゲーム形式だけではなく、技術習得のための練習を取り入れ、学生がお互いに教え合うなどの姿が見られた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。運動の記録を取るよう指導したが、体重や体脂肪率なども測定できる環境が整うのであれば、もっと詳しく自己の体を知ることができると思う。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	森 敦嗣

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は選択科目ではあるが、保育士資格を目指すものにとって日本国憲法は必修である。今回の受講動機をみても「必修科目である」と回答した割合が79.1%であり、学生の8割近くの学生がそのことを認識している。一方で「関心のある内容である」と回答した学生が18.6%であり、ほとんどの学生にとっては日本国憲法自体が関心のない科目であるという事実が表れている。そうしたことも踏まえ1回目の授業では保育士待遇が憲法違反であることを訴えた高校生たちの事例から、日々の生活環境の改善を考える上で憲法を学ぶ意義があることを説明した。さらにアクティブラーニングとして映像を使った模擬裁判を行い、グループで討論させて意見をまとめさせた。</p> <p>②昨年度と同様に、毎回配布するレジュメの最後に必ず本日の講義のポイントとなる部分をまとめた問題を出題した。これは普段の生活では聞きなれないような法律の専門用語を学習することが必須だからである。</p> <p>③後半の授業においては「裁判員制度」に関わる重要な制度である「死刑制度」について、廃止論、継続論それぞれの主張を紹介し、学生たち自身にも制度の賛否について意見を記述させた。</p> <p>④映像授業として、裁判員制度の広報映像を見せ、学生たちも将来参加する可能性のある裁判員制度への理解とその重要性を認識させた。さらに模擬裁判を行うための資料映像を使用し、学生たちのグループ討論を行う際の参考とした。模擬裁判では各グループに判決用紙を配布し、各グループの判決をどうするか討論を行い、その判決にした理由も協力して書いてもらった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された		達成された	

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績平均値は79.8点であったが、単位取得の点数に足りず再試対象者となる学生が数名いた。これは本試験の穴埋め問題においてほとんど無回答の学生がおり、その結果がそのまま最終的な成績評価に表れた。学生の到達度自己評価に関するアンケートでは、10項目の平均値が3.8以上、知識理解に関連する項目の平均値は4.1であり、本科目DP項目は十分達成されたと言える。「コミュニケーションや表現力を高めることができた」の項目は平均値3.8であり、昨年度の平均値と比較すると0.1下げたが、他の項目の数値と比べてもそれほど低い数値ではなかった。これは前年度に引き続き行っている模擬裁判等のアクティブラーニングの効果が表れている。</p> <p>一方で学習量の評価として、授業後の復習に30分程度の学習をした学生の割合が43名中17名、授業前に30分程度の準備を行ったと回答した学生の割合は43名中14名であった。本講義はテキストを使用しないため、こちらから何か指定しない限りは学生側が予習をする必要がなく、そのことが数値に表れていた。学習量の対策としては、次年度より配布する授業レジュメの重要項目を問う小テストを数回ほど実施していく予定である。これは前週にこちらから小テストの範囲を予告することで学生がそのための予習に時間をかけるという効果が期待できる。復習に関しては毎回のレジュメの最後にある「今日のまとめ」について本試験及び小テストの試験範囲であることを伝え、学生に各自翌週までに記述してくるよう指導する。これにより学生が復習にある程度の時間をかけることができると思われる。</p>
--	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性
本科目は選択科目ではあるが、一般教育科目の一つであり、DP1、DP3に関わるものである。本学の保育科の教育目的の一つが豊かな教養と専門知識をもった保育の専門家の育成であるが、本科目はその教育目的からみても内容的には妥当であると考ええる。

②DP、行動目標からみても内容的妥当性
知識理解に関する達成度に関しては、到達度自己評価の平均値が4.1であり、前年度より数値は上がった。知識理解に関する項目の成績については、前年度と異なり再試対象者が出てしまったものの最終的には全ての学生が単位取得しており、内容的に妥当性であったと考える。
また到達度自己評価で「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の質問に肯定的評価をした学生が43名中40名であった。授業開講時の受講動機で日本国憲法について「関心のある内容である」と答えた学生が43名中8名であったことを考えると、授業を通して本科目に関心を持った学生が大幅に増加したといえる。

③まとめ
以上から、本科目の位置づけからみた内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について、今年度はいずれの項目も平均値は4.1以上であった。平均値4.2であった昨年度より若干数値は下がったとはいえ、いずれも高い評価を得られた。これは数年前から行っている映像授業から自分の意見を記述するレポート、模擬裁判によるアクティブラーニング等の学生の関心を高めるための様々な試みが功を奏したと考えられる
今後の課題として学生の学習量の評価、特に授業前の準備である予習の改善が挙げられる。今回再試対象者が数名出てしまったことは、本科目に関する日々の学習量の不足が原因として考えられる。そこで次年度にかけては小テストを数回実施し、学生がそのための予習復習に時間をかけるよう促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

再試対象者が数名いたとはいえ、全体の最終成績の平均点、知識理解といった学生の到達度自己評価の平均値、授業の質評価のいずれも高い数値を出すことができた。ただ前年度と比較すると、本試験の知識理解の問題に関わる記述ができなかった学生がいたことは大きな課題である。先述したようにこの原因の1つとして本科目に関する日々の勉強量の不足が挙げられる。
そこで次年度に向けて、学習量増加に向けた対策として15回の授業の中で小テストを数回実施していく。また前年度に引き続き、毎回配布するレジュメの「今日のまとめ」を宿題形式として自宅で記述させる、模擬裁判のグループ討論を、授業内だけでなく次週までの課題として出すといった試みも行う。これにより、学生の方から授業に関連する予習復習を意識的に取り組めるよう促していきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語表現法	1	後期	選択	はい	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>伝えたつもりが伝わっていないという悲劇は、なかなか普段はわからないものである。他人の反応、および試験の結果等々でやっと気づくものである。つまり、表現するとはどういう意味なのか。基本的な文章の種類・句読点の打ち方・はっきりわかる文章作法・修飾の仕方・レポートの書き方面接の良好な態度・受け答え方についての詳しい説明を加えながらの講義をした。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>講義中、無作為に指名し、考えをきちんと発表することで、他の学生たちも刺激されて学びが深まってゆく。学生たちのやる気ある態度が講義を活性化してくれたように感ずる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目の位置づけから見た内容的妥当性は75%までは習得できたのではないかと思う。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本来は小グループに分かれて文章構成の見直しをするのが一番の方法であるが、この度は、大事を踏んで、マンツーマン指導をした。弱点を軽減することはできたかもしれないが、私自身、心残りもなきにしもあらず、といったところである。次回は学生からの質問をもっと提示してもら回数をふやしたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

出来得る限り、個別指導を徹底的にこなし、学生の理解度を殊更チェックすることを今以上に心掛けたく思う。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	Paul Gareth Steele

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用英会話	1	後期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>I thought the students studied hard and prepared for all the classes. Most of the students attended all the classes. They took part in all the listening and speaking activities. The classes could be improved by introducing more real life day to day experiences for conversation practise.</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>Most students achieved the grade of 'B' Although one student did get a 'S'</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

The classes followed the curriculum and we were able to go through 6 units.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

I think the classes can be improved by using a new textbook. Although Interchange 1 is a good textbook, it does not offer the opportunities for in depth conversations that other textbooks offer.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

A lot was achieved in this class, but some students were absent from a number of classes, which made it challenging at times.

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会福祉	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、「必修科目である」が92.9%、「資格取得に必要である」78.6%と高い数値となっており、保育士資格の取得を目指す多くの学生が受講している。授業の実施に当たっては、社会福祉が私たちの生活に密接にかかわるものであることへの理解を促すとともに、福祉の専門職である保育士に求められる知識の獲得に向けて、適宜、具体的な事例を用い、現場実践に引き付けて学びを得ることができるよう心掛けた。また授業開始時に小テストを実施し、予習、復習に対する意識の向上と学習状況の把握につとめた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、定期試験、レポート、小テスト、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均77.9点であった。学生の到達度自己評価「(1) 自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.1点（かなりそうだと思う35.7%、わりにそうだと思う42.8%、まあまあそうだと思う21.4%）であり、目標は達成されたと考える。「知識理解」については、「(2) 知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.3点、「(3) 事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.1点であり、目標は達成されたと考える。「意欲関心」についても、「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.3点であるため、目標は達成されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点での自己評価について、全ての回答者が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。また、意欲関心の観点での自己評価についても、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから内容的妥当性に問題は無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業では、双方向でのやり取りを意識的に行い、学習環境の質の向上に努めた。また、継続的な取り組みではあるが、予習プリントの配布や單元ごとの小テストを行い学習準備性の向上にも努めた。「授業の質の評価」に関する全ての項目やアンケートの自由記述において肯定的な評価を得ることができたのも、このような取り組みによるところが大きいのではないかと考える。その一方で、多くの学生は図書館やインターネットの活用にまで至っておらず、引き続き今後の課題として改善に努めていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。今年度も、配布資料の改善をはじめ情報提示の方法の見直し、学生が質問しやすい環境づくりなどを行うことで、学生の授業理解を促すよう努めた。今後も教育内容の質の担保、向上を目指し、改善に取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育相談とカウンセリング	2	後期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、幼稚園教諭免許の必修科目であるためであり、科目へのモチベーションというよりは、保育職へのモチベーションを持って受講していると考えられる。そのため、保育現場での実践を意識した授業内容としている。現場で多く出会うような事例を準備し、臨床心理学や対人コミュニケーション、メンタルヘルスについての専門知識を背景として、事例について考える時間をできるだけ多く取るようにしている。また、現場で様々な事例に対応するために、個別の方法やマニュアルではなく、基本的な考え方や視点の持ち方についての理解が深まるよう留意した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価平均値は例年と同等の値となっていることから、教育目標はおおむね達成されていると考えられる。また、アンケートの達成度自己評価の各項目は平均が4.0以上であり、その点からも、教育目標がおおむね達成されていると考えた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

この科目に関するDPの項目である思考判断に対応するアンケートの自己評価項目は、「(4)さまざまな課題を検討する力を得ることができた」と「(5)的確に判断する知らかを得ることができた」であるが、平均値はどちらも十分に高いといえる。学生が授業を受けた手ごたえとして感じていることと授業の目標が一致していることがうかがえる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

2020年度はリモート授業の中で、学生が事例について考えたことをどのようにシェアするのが課題であった。21年度と22年度は、学生からの提出物の内容を教員が次の授業でコメントを加えながらシェアするというやり方で、共有を図った。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

教育目標は、おおむね達成している。学生の自己評価も高く、授業目標や教員の意図が良く伝わっているように思う。今後も学生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めていきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	天本 理恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの食と栄養	2	後期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答数が9/47 (19%) と非常に低かった。</p> <p>①子どもの食と栄養は、選択科目ではあるが、保育士免許の必須科目であり、受講動機が「必修科目である」が55.6%、「資格取得に必要である」77.8%であった。「資格取得に必要である」との回答が100%でないことに関しては疑問ではあるが、回答率が低いこともあり、この結果だけでは受講動機の評価は難しい。</p> <p>②講義は、スライド資料を配布し、その資料には、板書を書き写すためのスペースを設けるなど、資料作成に努力はしている。毎回の授業終了時に、その日の講義の復習小テストを行い、解説するようにした。その小テストには、授業理解度を%で自己評価させ、意見や質問をうける欄も作成している。毎回、質問欄には、学生たちから色々な意見や質問が記入されており、それに必ず返答して返却するよう努力した。また、調理実習時は教育支援の教員に協力頂きながら、調理に慣れていない保育科の学生たちでも楽しんで臨める調理実習を行うように準備をした。栄養教育についてもグループでの協働する力を身につけることができる講義展開を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DP1(知識理解)に関しては、定期試験結果から評価した。試験結果は46名の受講生中、A(秀)が61%、B(優)が33%、C(良)2%、D(可)が2%で、不可の学生はいなかった。秀が61%と高く、理想的レベルに93%が達しており、DP1はある程度満たされたことが考えられる。また、DP5(技能・表現)に関しては、演習(媒体作成、課題作成)、調理実習、小テストへの取り組みにて評価をおこなった。学生による授業評価においては、知識理解や思考判断および意欲関心に関する自己評価が高い。講義への関心の高さは、試験結果や、自己評価で判断することが出来たが、学習量の評価では、予習および復習をしている学生が殆どであった。しかし一方で、学習のために図書館を利用したり、インターネットを利用して検索学習を行う学生も少なかった。対面授業が可能になったため、今後はインターネットや図書館の利用に関して、自主的学修のためにも学生に勧めていく必要がある。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士の必修科目であり、こどもの成長発達のためには必須の栄養のことを学ぶ科目となる。このことから、受講動機の「必修科目である」が55.6%、「資格取得に必要である」77.8%なのは、当然の回答で、資格取得に必要であるが約78%なのはむしろ低い。一方で、本科目に対する学習到達度や試験結果から、選択科目ではあるものの関心の高さや達成度の高さは伺えたため、DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性に関しては、妥当であったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量の評価では、殆どの学生が予習、復習をしていた。一方で、この授業を履修する際にシラバス記載を参考にしなかった学生は67%と高かった。しかし45%は、シラバスを活用し授業の計画を立てている。選択科目ではあるが、保育士必修の科目であるため、シラバスを参考にしなくとも、本科目の履修は卒業条件だというのが学生たちにあると考えられる。ただし、シラバスを参考にした学生の44%が、「シラバスに沿って講義をうけることが出来た」、「教員のオリエンテーションに沿って授業を受ける計画を立てた」と回答しており、今後も講義初回のオリエンテーション時における、シラバスの説明、今後の授業の進め方、自己学習の仕方等を丁寧に実施していく予定である。初回にシラバスを印刷したものを配布しているので、これに講義前には目を通すことを促したい。予習復習等自己学習に関しては、まずは、少時間でもいいので、予習・復習をする習慣をつけてもらえるよう、シラバス記載の予習・復習項目を常に意識するよう学生に促す。さらに、予習・復習課題の作成を検討していく。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目の位置づけは、選択科目ではあるものの保育士資格必修の専門科目であるため、学習到達度の学生の自己評価および試験結果から、概ね全てのDPを達成できたものとする。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	河瀬 洋美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「人間関係」	2	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを使用し、認知スキルと社会情動的スキルの相互作用について授業計画を立てた。 ・予習は難しかったようだが、授業に集中していればしっかり理解できる内容だったと思う。 ・子ども達の事例を分析しながら、保育者として求められる「人と関わる力」を自覚できるように工夫した。 ・他者と自分を理解しながらどのような行動がとれるか、折々にテーマを決めてレポートを提出してもらった。考えを率直に述べることができていた。 ・出席日数が少ない学生は、提出が遅れがちで、考えをまとめたり端的に表現したりが苦手なように感じた。 ・私自身の体験から、保護者とのやり取りや子ども達の成長過程などわかりやすく話すように心がけた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> ・午後からの授業で睡魔との闘いだったが、熱心に臨む学生も多かった。 ・授業態度や貢献度、レポートの内容等で成績を評価した。 ・様々な事例をもとに育ちと遊びを連動させながら考える力を付けてほしかったが、理解が進んだかは私の反省点である。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

- ・保育内容「人間関係」は全内容に関わるので、自分自身を振り返りながら子ども達に対して人と関わり力をいかにつけていくかを命題にすすめた。
- ・養護と教育に関わる内容が関係性を持ち、総合的に保育を展開していくための知識や判断力を学ぶ姿勢を求めた。
- ・保育者にとって必要な科目であり、自分自身の自我の育ちや自己抑制、自己調整力等今後も学び続けてほしい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ・目標はやや達成できたが、自己評価としてはもっと魅力ある時間を作れたのでは例年の反省がある。
- ・テキストを変えるとまた違った角度でアプローチができ、資質の向上につながると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

やや、物足りない授業だったかもしれない。人間関係においては実践を例に挙げて出来るだけのことはしたつもりだったが、どこまで通じたかは不明。対面授業になった際、グループ討議等を取り入れるとよかったと反省点は多い。達成状況は「やや達成できた」という段階である。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育メディア演習	2	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教職に必要な科目のため、教育方法としてメディア機器を扱うことと様々な保育方法の検討などが行えるよう工夫を行った。</p> <p>もう一人の担当者と明確に分担した。保育・教育の方法論として、複数の保育方法について検討を行ったり、メディアと子どもの育ち、保育や育児に関するメディア環境の影響など、子どもの育ちから見たメディアと保育者としての関わりの在り方について学ぶような内容にした。</p> <p>演習科目であるため、アクティブラーニングを意識し、ディベートや発表などを取り入れた。学生自身が置かれているメディア環境（スマホ依存など）や自分自身の経験を活かすようなテーマ設定を行った。「保育にメディアは必要なのか」という根源的な問いに、授業を通して学生が出会えたことが非常に良かったと思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終成績の平均値は76.5、再試験該当者は2名。再試験は未提出の課題が多かったため、課題レポートで代えたが十分に理解はできていた。平均点やレポートの内容から、DP1の知識理解は「達成された」と評価できる。</p> <p>また、授業内小レポートを8回中6回課し、それらの小レポートやディベートや発表の内容から「保育に必要かどうかを含めて、自分なりに、メディアとの付き合い方を考えていく態度」が養われたことがうかがえた。今回は学生の到達度自己評価が全て4.2以上となり、「課題を検討する力」と「的確に判断する力」が共に4.4と非常に高く、DP4の態度に関しては「達成された」と評価できる。</p> <p>以上の結果から、全体を通して「達成された」と評価したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目はCPにおいて「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付く科目の一つである。保育の方法に関わる内容であり、様々な保育の方法があることを知り、卒業を控えた学生たちが今後どのような方法をとるべきかを熟考する内容であるため、妥当であると考えられる。

DPに関して、今後、子どもとメディアを巡る環境はますます変わっていくものと考えられる。卒業後も継続的に関心を持ち、常に問うていける姿勢を持ち続けるためには「思考判断」や「意欲関心」を高められる内容も盛り込んでいく必要があると思われる。今回の授業内容では、DPの位置づけは妥当であったが、これからの授業展開として課題としていきたい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生からの授業の質評価は平均4.5と非常に高かった。授業後の小レポート作成は、振り返り学習を行うのに効果的だったと思われる。実技での参加態度の評価や、課題を明確にした上で発言の機会を多く設けたり、グループワークも取り入れたりしたため、その効果があったと考えられる。自由記述も好意的な意見であり授業への満足度も高かったと受け止める。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお願いします。

メディア環境との関わりを、子育てや保育を通して自分なりに考え使っていく態度を養うことができたと評価できる。次年度も教育・保育現場でのメディア環境の変化に追従できる授業内容を構築し、より理解を深められるようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育メディア演習	2	後期	選択	はい	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。①必修科目である69.9%、②資格取得に必要である78.6%、③関心のある内容である19.0%、④単位数を確保する35.7%、⑤GPAをあげる2.4%、⑥友人が履修している9.5%、⑧教員に勧められた2.4%。</p> <p>・幼免取得のための選択科目である。</p> <p>・初学者の受講を想定して、教材・資料の配布を行った。</p> <p>・教材・資料の内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。</p> <p>・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、教材・資料に沿って例題に取り組みなどの演習を行った。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・担当部分の成績評価は、平均82点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.1で最も高いスコアであった。</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.6で最も低いスコアであった。</p> <p>(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

- ・学科のDPの、知識理解（DP1）、態度（DP4）の基礎部分を担う科目として開講している。
- ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.5～4.2であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。
- ・学習量の評価では、適度な予復習がなされていることが示唆される。授業の時間内に仕上がる程度の課題を演習として課しているが、概ね丁度良い負荷になっていることが推察される。
- ・図書館等の利用はあまりなされていないが、演習とした課題や参照するよう指示した資料はweb上で入手・確認可能であった結果を反映したものと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

- ・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。
- ・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	金田 孝一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
特別支援教育論（障がい児保育含む）	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○授業では、特別支援教育や障がい児保育に関する【知識・理解】や、特別の支援を必要とする子どもへの適切な支援方法への【思考・判断】だけでなく、保育者・教育者としての見方・考え方、生き方を意識する【態度】も意図した。</p> <p>○学生の〔受講動機〕は、必修科目（83.8%）、資格取得（52.4%）、単位数確保（33.3%）の順である。履修への内発的な動機づけの低いことが予測される。</p> <p>○そこで、初回授業では「何のために、特別支援教育論（障がい児保育）を学ぶのか」という問いかけから始め、課題意識をもつように促した。</p> <p>○授業では、学生が授業の構成や内容を把握できるよう、毎時間、レジュメ（裏面には学習確認の作業シート）、パワーポイントの概要、参考資料を配布した。また、授業の内容を自分のものにできるよう、小テストの他、予習課題やワークの提出を指示し、フィードバックを行った。</p> <p>○なお、各授業では、実務家教員としての各障害等への指導経験や行政経験等を生かし、学生がイメージできる具体的事例を示すようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		やや達成された	達成された	やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○本科目ではA・Bの2クラスで同じ授業を実施した。最終的な成績の平均値は75.1点であり、全員が標準レベルに達していた。</p> <p>○クラス別の成績の平均値は、Aクラス77.6点、Bクラス72.3点であった。</p> <p>○クラス別の観点別達成度は、【知識・理解】のAクラス74.6%、Bクラス73.7%に対して、【思考・判断】ではAクラス79.6%、Bクラス71.4%であった。AクラスとBクラスの成績には、特に【思考・判断】の達成状況において、開きがあった。</p> <p>○最後の授業では、「学んだ内容から今後に生かしたいこと」などの、振り返りをした。</p> <p>○学生の自由記述を段階別に整理すると、本科目の目標になる「障害のある子どもを意識するレベル」での記述（学生の47.9%）だけではなく、「障害の有無にかかわらず全ての子どもを意識するレベル」での記述（同29.2%）があり、さらに「保育者としての生き方を意識するレベル」での記述（同10.4%）があった。</p> <p>○それにとどまらず、自由記述には「保育現場ではもちろん普通の街中などでも支援が必要な人がいることを知り、学んでいく中で視野が広がり、自分のできることからやっつけていこうという気になりました。」「身近でも、私たちのちょっとした配慮が障がいのある方々にとって暮らしやすい社会につながる事が分かりました。私たちがあたりまえであると思わず、周りを見渡しながら困っている人を手助けしていこうと思います。」「自分が将来、もし園に就職しなくても役に立つ知識が得られたと思うので、今後の自分の人生に生かしたいなと思いました。」のように、「人として、自分の生き方を意識するレベル」での記述をした学生（同12.5%）もいた。</p> <p>○〔到達度自己評価〕の平均は4.16であった。特に「職業選択の参考になった」自己評価が4.2であり、「生き方を意識する」授業の意図に迫ることができたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>○CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性</p> <p>本科目は、保育者としての基礎知識・基礎技術を身につける基礎段階（1年次）の専門教育科目である。授業の内容は、専門教育科目（障がい児保育演習等）や実習（施設実習等）など、専門分野の知識・技能を身につける応用段階（2年次）につながる基盤となる。授業準備の欄に記載したように授業では学生の受講動機を高めることを試み、学生は目標達成に一定の成果を収めていることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>○DP、行動目標からみての内容的妥当性</p> <p>本科目において、【知識・理解】の評価は「予習課題」（授業前の知識の整理）と「小テスト」（授業後の理解の確認）を通して行った。また、【思考・判断】の評価は「ワーク」（具体的な配慮への思考）と「小テスト」（適切な対応の判断）を通して行った。</p> <p>観点別の全体的な達成度では、【知識・理解】に関しては74.2%、【思考・判断】に関しては75.7%であり、大きな差はない。学生は一定の成果を収めていることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>○以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○【授業の質評価】の平均は4.14であった。独自に実施した授業改善アンケート（自由記述）では、配布資料や課題の量は多いが、理解は深まったという肯定的意見が回答学生の92.2%だった。ただ、後方席の学生（2名）からマイクの適切な使用の要望があり、今後改善をしたい。</p> <p>○本科目では、Aクラス（実質26名）・Bクラス（23名）とも同じ教材を使用し、同じ授業を実施した。しかし、学生の目標達成欄に記載したように、AクラスとBクラスの成績には、特に思考・判断の達成傾向において差があった。背景の可能性として、A・Bクラスには、次の差がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況の差（出席日数と学生数）：Aクラス 15日（9名）14日（12名）13日（3名）12日（1名）、Bクラス 15日（7名）14日（3名）13日（3名）12日（7名） ・出席日数の差（各クラス平均）：Aクラス 14.0日、Bクラス 13.2日 ・授業時間帯の差：Aクラス 木2 10:40～12:10、Bクラス 木4 14:40～16:10 <p>いずれにしても、授業への参加意欲を高めることが大切になる。そこで、「なぜ、特別支援教育論（障がい児保育）を学ぶのか」という履修の目的意識とともに、毎回の授業での目的意識や課題意識を高めるため、授業のめあてとまとめを、より分かりやすく提示するように改善をしたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>基礎段階（1年次）の専門教育科目としての本科目の位置づけから、学生の目標はおおむね達成できたと評価できる。また、授業を通して、特別支援教育や障がい児保育に関する知識・理解や、適切な支援方法の思考・判断だけではなく、保育者・教育者としての見方・考え方、さらに自分の生き方まで意識する学生がいたことも評価できる。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅰ	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得の必修科目であることを踏まえ、テキストや参考文献、またDVDを用いて伝えるべき内容を網羅するようにシラバスに従って授業を進めた。 これまで3歳未満児と関わった経験がない学生が多かったため、実務家教員の特性を生かして守秘義務に配慮しながら保育現場をイメージしやすいように写真や動画を活用したり、事例を説明したりすることで理解を促していった。 講義主体の授業だが初めて保育所実習に出ることを視野に、実際に保育人形を使って着替えやおむつ交換の演習、またふれあい遊びやわらべうたなどの実技も取り入れて授業を行った。 昨年度の授業の改善点を考慮して学生の主体的な学びができるように、現場で役立つと思われる事例をもとに、子どもとの関わり方やその関わり意図などについて考えるグループワークを組み入れ、双方向の授業を心掛けた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通しての成績は86.2 (±4.3) であった。総合評価としてはほとんどの学生がAやBの標準以上の評価であった。 しかし定期テストでは、6名の学生が60点台の得点であった。知識理解について授業内容の理解を促す個別対応の工夫も必要である。 講義主体の授業であったが、実習に出るために着替え、おむつ替えといった演習も取り入れた。学生は積極的に参加して要領を覚えることができた。また乳幼児の発達を促す手遊びやふれあい遊び、わらべうたなどについても演習の経験を通して実践に活かすことができたと思われる。 次回の授業の内容をテキストの箇所等で伝えていたが、「何をすればよいのか分からなかった」との回答があり、ほとんど予習してきた様子がなかった。また授業の課題以外の学習に取り組んでいない理由に「授業の内容で十分だった」とあったが、自学自習することでより理解が深まることを伝え、具体的に学習準備の仕方を説明していきたい。 授業に関する質疑応答の時間を設けていたが学生の反応が少なかった。またグループワークの機会を設けたが自主的な発言は少なかった。しかし指名するとの確かな答えが返ってきた。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格取得を希望しており、前向きに授業に臨んでいた。

・実習前に必要な知識・技術を伝えるべく、できるだけ具体的に講義や演習を行うことで、多くの学生の知識理解が深まったと思われる。

・「自由記述」では「乳児の発達を詳しく知ることができた。実習に活かしていきたい」との意見があった。現場での事例を用いて解説したことで、現場での様子がイメージされて理解を促したと思われる、学生の思考判断力の獲得に寄与することができたと思われる。

・以上より、内容的妥当性に問題はないと思われるが、学生の主体的な学びを促すために授業内容の改善が必要である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・これまで3歳未満児との関わりがほとんどない学生に対して、実習前に必要な知識・技術を伝えるべく、できるだけ具体的に講義や演習を行ったが、特に法令や保育指針等の内容を説明するときに、学生の学習意欲が落ちている印象があった。現場での事例をはさみながら画像等も利用した講義や遊びの演習などは高い関心を示して受講することができていたため、分かりやすい事例を組み入れたり、途中で手遊びを盛り込むなどしながら、必要な内容はもれなく学習できるようにしていく。法令や保育指針、倫理綱領等に関しても、その内容の理解を促す工夫をしていきたい。

・「自由記述」では「乳児の発達を詳しく知ることができた。実習に活かしていきたい」との意見があった。現場での事例を用いて解説したことで、現場での様子がイメージされて理解を促したと思われる。

・しかし、学生の主体的な学びが保障できるように、質疑応答の時間を充実させたり、事例検討などのグループワークの内容を改善していく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・ほとんどの学生は、授業内容を理解して学んだことを実習等で生かそうとしているが、少数ではあるが理解や応用が難しく、学習意欲の低下が感じられる学生がいる。よって興味・関心が持てるような事例の説明や遊びの演習等を盛り込んだ授業を工夫し、学生の主体的な学びと理解を促すようにしていきたい。また予習の必要性についても理解を促していく。

・学生の思考判断という観点からは目標は達成されたと思われるが、学生の知識理解という観点からは、学生の主体的な学びを促すために上記のように授業内容の改善が必要である。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、資格取得を目指す多くの学生が受講している。授業実施にあたっては、社会的養護の担い手である保育士に求められる基本的な知識の獲得を目指すとともに、事例検討の機会を多く取り入れ、授業での学びをできるだけ実践と関連付けて考えることができるよう工夫した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、小テスト、レポート、レポート外提出物（主に授業で作成したノート）、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均79.5点であった。学生の到達度自己評価「(1) 自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.3点（かなりそうだと思う31.3%、わりにそうと思う62.5%、まあまあそう思う6.3%）であり、目標は達成されたと考える。「思考判断」については、「(4) 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値が4.4点、「(5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値が4.2点であり、目標は達成されたと考える。「意欲関心」についても、「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.4点であるため、目標は達成されたといえよう。「技能表現」については、「(7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.2点、「(8) コミュニケーションや表現力を高めることができた」の平均値が4.1点であるが、「(8) の項目で少し達成できなかったと感じている学生がいることから、目標はやや達成された」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の内容、方法に関する科目」に位置づけられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。

DPでは、「思考判断」、「意欲関心」、「技能表現」の観点に関する到達度自己評価において、学生は概ね肯定的な評価をしている。また、ワークシートへの記入内容についても、回を重ねるごとに考察の深まりがみられた。

以上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は対面形式で実施したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から個人ワーク中心で演習を展開した。教材についても継続的に見直しを行い、授業内容に対する学生の理解度の向上に努めた。学生からの評価としては、「授業の質評価に関する項目」の全てにおいて「まあまあそうだと思う」以上の肯定的評価を得ることができたため、その取り組みは一定の成果があったと考える。また、今後も個別の質問への丁寧な対応やリアクションペーパーの活用等を通して、学習理解度を向上を図りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。今年度は対面授業であったが、継続的に取り組んでいる、教材や個別ワークの展開方法の見直しについては一定の成果が得られたと考える。次年度以降も受講生全体の学習理解度を高めることができるような方策を含め、授業の質的向上に努めていきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教保育	1	後期	必修	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本学のキリスト教の特色を生かした必修科目であるが、受講前はほとんどの学生が関心がないことを踏まえ、以下の3点において、キリスト教に関心のない学生でも興味をもって取り組んで行けるよう工夫した。</p> <p>①キリスト教と保育の関係性について明確にすること ②「感恩奉仕」の精神を生かした学びとして「世界の子どもたち」について調査し発表すること ③キリスト教Ⅰで学んだ聖書の物語についてシナリオを作成し、実際に演じてみること。</p> <p>②③は学生自らが主体的に学ぶ訓練として導入し、「世界の子ども」の発表によって視野を広げ、「聖書の物語の劇」を創作することにより、監督を中心にシナリオを製作するなど、保育現場でも生かして行ける内容を工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度の自己評価①自分なりの目標を達成した (4.1)、②知識を確認、修正したり、新たに得ることができた (4.2)、④専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた(4.2)、⑧コミュニケーション力や表現力を高めることができた(4.4)、また、到達度自己評価の平均値4.2などからわかるように、教育目標はおおむね達成されたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本学のキリスト教の精神に基づき専門科目の「保育」を学んでいくという、本学のユニークな科目である。教養教育との違いが心配されたが、到達度の自己評価の中の専門分野に触れる質問に関し、平均値が4.1であり、職業倫理や行動規範を学ぶ事ができた(4.2)、職業選択の参考になった(4.0)からもわかるように、内容的に妥当であったと言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「世界の子どもたち」や「聖書の劇」の調査・発表により、学生が参加する機会が作られていた(4.4)からもわかるように、講義と演習とのバランスは妥当であったと考えられる。対面授業が再開し、生き生きと学生が協働学習に取り組むことができ感謝であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本学独自の科目であり、他大学の保育科との違いを明確に出す必要がある。科目に関心のない学生に対しても関心を引き起こすことができるよう「演劇」の手法を取り入れて、キリスト教保育の学びを展開している。
「世界のこどもたち」の学びは、学生の関心が集まるテーマである。キリスト教保育は日常生活では触れることのない広い世界に目をむけていく視点を含んでいるため、この点を活かしつつ、今後も学生たちの関心を汲み取りつつ展開していきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども音楽療育実習	2	後期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>zoomを使って市内の3園を同時につないだライブ配信による「療育的なおんがくあそび」2回と、ウエル戸畑においての「公開おんがくあそび」を行った。受講動機は資格習得のためという明確な目的があるので、学生各々が積極的に取り組んだ。発達段階、保育環境（幼稚園や保育園に通っている、あるいは通っていない）などにかかわらず個々に適した自由な参加ができ、親子と学生の触れ合いの中で楽しめることを目的にした。発達途上にある子どもや、障がいのある子どもへの療育に特化した音楽活動を学ぶ学生たちは、企画実践に当たって1年後期の「こども音楽療育概論」2年前期の「こども音楽療育演習」で学んだ音楽を媒体とした体と脳への働きかけを大切にしたい内容を考案することに努めていた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①トータルの成績が90点以上が89%で、ほぼ全員が大変意欲的に取り組み、手ごたえのある成果だったと考える。しかし学生の②知識の確認、修正、新たな獲得の項目がかなりそう思う、わりにそう思うが100%と高かった一方で、③職業選択の参考になったか、の問いで少しそうでないと思うという学生がいて、その答えは重く受け止めたい。問題点を早い段階で察知して解決へ導きたかった。コロナの感染防止対策を徹底して（1週間前からの学生の体調チェック、当日の参加者の検温、机椅子の消毒、手指の消毒 座席の工夫など）外部の会場を借りての実施ができたことは、評価できる。④専門分野における的確な判断力の項目で3.9という数値であったが、例年この項目の数値が4.0に至らないので今後の課題と受け止めている。個人で行うことが多い模擬保育とは異なり、これから就職する現場で必要とされる協働の力を育むことができたと考える。お互いの苦手な部分を考慮しながらグループ活動を進めたことがうかがえた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1年後期の「子ども音楽療育概論」、2年前期の「子ども音楽療育演習」そして本科目である2年後期の「子ども音楽療育実習」を終え、全員が「子ども音楽療育士」の認定を受けることができた。シラバスに示した①対象児の理解を深め、②実習を通して、療育的音楽活動の効果を実感し、③実際の療育的音楽活動を実施する力を持ち、自身の療育的音楽活動の振り返りをして、より対象児に合った療育の在り方を考察できるという学生の達成目標をめざし、学生自身による授業の質の評価で、5項目すべてで、わりにそう思う、かなりそう思うが85.7%で、内容的には妥当であったと考える。受講動機の、1資格習得に必要であり、2関心がある内容である、ということを満たしたと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

コロナ禍に入って始めたzoom「音楽DEあそぼう」という公演をすることになり大変充実したという感想があがっていた。3公演とも内容が異なっていたので準備・練習は限られた時間の中で工夫されて行われた。回を追うごとに発想力、企画力、準備の手際、チームワーク、表現力、子ども達への臨機応変な対応力などのスキルが向上した。保育園とつなぐ音楽会は、参加園から今年も熱望され、実施することになった。その結果受講生はこの15コマの授業で2回のライブ配信、1回の公開療育的音楽活動の計画を立て実践することになった。内容的には概ね満足のいくものだったが、対象児の変化をとらえ、実習記録に改善点を記載していくには授業内で時間を取ることができず、家庭学習にゆだねる面が大きかったので毎回の実習記録の点検が十分とはいえなかった点がある。次の実践計画が机上の学修に留めるに終わってしまった。充実した実習報告会を手掛かりに、実践を繰り返す毎に技術が磨かれていくことを実感できることが意欲につながるので、卒業後も療育的音楽活動についてのアドバイスができるような関係を大切に、学生を見守っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

受講生はこの15コマの授業で2回のライブ配信、1回の公開療育的音楽活動の計画を立て実践することになり内容的には満足のいくものだったが、対象児の変化をとらえ、実習記録に改善点を記載していくには授業内で時間を取ることができず、家庭学習にゆだねる面が大きかったので毎回の実習記録の点検が十分とはいえなかった点がある。十分な実習報告を経て、技術を磨いていくことを実感できると意欲につながるので、卒業後も療育的音楽活動についてのアドバイスができるような関係を保ちながら、学生を見守っていきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
在宅保育	2	後期	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「認定ベビーシッター資格」取得のための必須科目です。授業評価アンケートは、回収率が悪かったため、受講生全体の傾向をつかむことは難しいですが、「1 受講動機」の設問に対しての回答で「資格取得に必要である」を選択されていたため、本科目の位置づけを十分理解してくれているといえます。また、「関心のある内容である」「単位数を確保する」という受講動機も選択されており、興味を持って受講してくれていたことを知ることができました。授業内容に興味を持ってくれたのか、「ベビーシッター」という資格に興味を持ってくれたのかはわかりませんが、多様な保育サービスの一端を学ぼうとしてくれたことをとても嬉しく感じています。また、この科目の内容は、普段学んでいる保育所保育、集団保育とは違うため、できる限り、担当教員2名の現場経験を基にした具体的な事例を挙げながら、理解を深められるよう授業を組み立てていきました。今年度は、対面で全て行えたので、感染対策を十分にしながら演習をふんだんに入れた授業を展開していくことができました。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>本科目が最終学年最終学期であること、自分自身の意思で選択した科目であることから、受講生の科目に対する学習姿勢は非常に良好でした。演習も楽しく、かつ真剣に取り組んでおり、最終のレポートも小テストもポイントをおさえることができた内容でした。成績評価も秀38%・優57%・良5%であり、非常によく学んでくれたと手応えを感じています。回答数が少ないですが受講生側からの授業アンケート「2 到達度自己評価」のすべての項目で平均値4.6～4.8、中央値5.0であり、特に、家庭訪問での居宅訪問型保育の内容であるため、(9) 職業倫理や行動規範については十分に身につけて欲しい項目であるため、受講生のアンケート結果と合致したことは、本科目を受講生が十分に習得してくれたと評価できると考えています。</p>					
* 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業評価アンケート「2 到達度自己評価」において高値の項目を見る限り、DPは妥当であると分析できます。また、受講生の取り組む熱意も演習の時は、貪欲に学んでくれる姿勢が見られていたため、内容的妥当性があると評価しています。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

選択科目でもあるため、過度な課題は課さないよう努めています。授業時間内で、十分「身体で覚える、学ぶ」ことをしているため、授業評価アンケートの学習量や図書館利用の回答が低値であることは、想定内です。しかし、授業の記録に関しては、配布資料に記述しているという回答があり、担当教員の意図をよく汲み取って受講してくれていたと感じました。最終講義時にとったコメントでは、それぞれに、講義内容を記憶できていることがわかり、印象に残る授業ができたのではないかと考えています。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

最終講義で、授業評価アンケートを回答するように促し担当教員は退室したが、回答せずに教室を出たのだと推測します。次年度は、授業の初めにアンケートの回答を促し、回答できたことを確認してから入室、授業を始めることにしようとして反省しております。今期の評価は限られた回答と、授業の時のコメントを基に行いましたので、十分振り返りができていないと思っています。

授業内容に関しては、選択科目であるため、受講生のニーズに最大限即した内容に臨機応変に応じて授業展開できるように努めようと思っています。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどものうたと伴奏法Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	41

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>前学期と同様に個々のレベルに応じてピアノの演奏技能を習得していくことのできるよう、非常勤助手を含めた教員6名のもと各グループをつくり個人レッスンの形態をとっている。また、科目担当者の方では全学生の進捗を把握するために毎回少人数ごとに中間発表とグループレッスンをを行うことで、発表の場を設けるだけでなく、学生からの質問の機会を設けている。</p> <p>また、グループで偏りがでないよう、入学前の学生のこれまでの音楽経験や1年次開講「こどものためのピアノⅠ・Ⅱ」2年次前期開講「こどものうたと伴奏法Ⅰ」での課題の進捗状況をもとにグループ内のレベルを均等に分け、どの学生も同じ環境でレッスンが受けられるよう配慮している。</p> <p>課題内容については学生が保育現場で活用できるよう、学生の進捗に合わせて簡易伴奏にアレンジする方法を教授し、就職試験でピアノの実技が控えている学生には、必要に応じて授業内や授業外でも対応した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は77.3点であった。（S-3人、A-16人、B-13人、C-8人、D-0人）本科目は保育において必要なピアノ演奏技能を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。</p> <p>授業評価では、「全般的評価」が平均4.1となっており、また「到達度自己評価」における「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」についても平均4.3で全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答していることから、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、1年次開講の「こどものためのピアノⅠⅡ」、2年次開講「こどものうたと伴奏法ⅠⅡ」の計4単位のうち2単位は幼稚園教諭免許取得に必要な科目である。また、各自の実習先から提示されるピアノの課題曲や就職試験を受ける際のピアノ演奏課題への対策など、学生一人ひとりに応じた指導体制をとっている。

自由記述においても授業の課題以外に「就職する園で弾く曲の練習」「自分のしたい曲を課題以外で取り組んだ」「進めるところまで進めた」などがあげられており、学生の受講意欲も比較的高いと考えられる。

「到達度自己評価」の「技能表現」においても、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答しており、内容的には妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

個人レッスンとは別に少人数での中間発表とグループレッスンの形態をとることにより、学生が発言しやすい場を設け、学生の進捗を把握し各担当教員との連携を図れるよう心掛けている。また、発表を通して技能の習得や課題に対する意識を高めるだけでなく、他者の演奏を聴き、客観的な視点から保育現場での演奏について考え気付きを得る時間となるよう進めた。

自由記述においても、「ローテーション(中間発表やグループレッスン)を通して、みんなで意見を言い合い、その意見を元にさらに練習することができて良かった」とあげられており、保育現場に出てから必要となる他者と音楽を共有する時間を個人レッスンとは別に設けることで、学生のスキルアップに繋がったと考える。これにより科目担当者のアンケート結果で「授業の質の評価」の(4)(5)の項目において全ての学生が「わりにそうだと思う」以上の回答がみられた。

また、ピアノに対して苦手意識をもっている学生や、就職試験の実技試験対策として授業とは別に質問やレッスンを受けつける時間を設けた。これにより、自由記述において「安心して課題に取り組めた」等の回答がみられ、学生の課題に対するモチベーションを保つことのできるよう配慮することができたと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。

次年度以降も学生がより意欲的に学ぶことができるよう授業環境を整えていきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの文学と物語	2	後期	選択	はい	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育科における児童文学で大切なことは、「子どもの五感の発達と生活体験の拡大」がどのように文学作品のなかに活かされているかを見出せるか、である。そのためには、たいせつなものを感じ取る力、イメージする力の拡大、空想する力、その時期（子どもの年齢）に合った絵本の紹介等々に力点を集中させ、わかりやすい講義を心掛けた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>講義の体制は座学であったが、ポイントになる点は問題形式で問うていたので、学生の考えたレポートや短文を講義中に提出させ、問題点の解決解釈の説明をし、実際、プロの教師になった場合のシミュレーションを行った。子どもとの関係だけではなく、保護者との幼児教育に関する説明の仕方・対応など、数々の事例を挙げて解説した。そのせいか、講義終了までには、なんとか75%までは習得できていると思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、75%は活かされていると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方としては、Q and Aの方式が良かったと思われる。自己評価できることでさらなる関心がわき、それと実習とが重なり、深く考える姿勢が身についたのではないかと察することができた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

コロナもそろそろ落ち着きを見せているので、グループ討議をして話し合いの時間を設けたく思う。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
器楽アンサンブル	2	後期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は選択必修科目で免許・資格に必要な単位の一つであり、受講動機においても「関心のある内容である」に全員が回答していることから、授業内容に関心をもっている学生が受講している。受講者数が少ない分、一人ひとりが主体的に取り組むことができるようグループで話し合いながら自ら楽曲・楽器を選択し、各パートの役割を考えて音楽表現活動を創りあげていけるよう授業を展開した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、「自分なりの目標を達成した」の平均値が4.2、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.7、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.5、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値が4.5であった。</p> <p>以上のことから、概ね本科目の教育目標が達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、保育士資格、こども音楽療育士の取得に必要な選択科目である。

「到達度自己評価」における「職業選択の参考になった」において全員が「わりにそうだと思う」以上を回答していることから、学生の本科目における受講意欲は高いとみられる。

DPに関しても、「到達度自己評価」における「技能表現」において全員が「わりにそうだと思う」以上を回答している。少人数ではあったが、他者と協調していきながら学生主体で楽曲を選択し、個々の力に合わせてリズムをアレンジしたり奏法を工夫していくなど、保育の現場で活用できる力を習得している様子がみられた。

以上から、内容的妥当性に問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生主体となって考え、話し合いながら活動する機会を設けることで、全ての学生が主体的に受講できるよう心掛けた。

それにより授業の質評価において、全ての項目の回答が「わりにそうだと思う」以上の回答であった。

自由記述において「様々な楽器についてネットで調べた」とあることから、授業で扱う楽器や楽譜・教材だけでなく学生が授業に関連する内容を自主的に調べることができるよう、図書館の利用や参考書籍について声をかけていくようにしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の到達度自己評価から、概ね授業の目標は達成されたと考える。上記の課題を意識しながら、次年度の授業を展開できるよう心がけていきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期の最初は保育現場で用いる器楽合奏を、既成の楽譜に手を加えるという手法を学びながら実演した。また、ピアノの「連弾」で保育現場の歌を演奏し、各々のピアノテクニックに見合ったアレンジで友達と演奏をした。前期の終わりにはミニ発表会を実施した。</p> <p>後期はミュージックパネルを使ったり、ゼミ生によるクリスマス演奏、ハンドベル演奏の練習をして、マロリーホールにおける市民カレッジの会に参加して、受講された皆様から大きな拍手をいただいた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学修のための情報利用はインターネットを通じたものが多かったが、自主的に大変よく活用して音楽の練習をしていた。学習量の個人差があったのは、演奏に向けての担当するものが各々異なり可視化しにくい部分があって誤解を招くことがあったが、「合わせて表現する」段階では全体を考えて意見を出し合いゼミとして団結して音楽を作り上げる姿が見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

西南女学院の卒業生が多く参加して下さった市民カレッジでは、現役生として、身近な音楽を楽しんでいただけて、普段の練習の成果を先輩に見ていただけたことは、意義深いものであった。目標をもって学生自身が試行錯誤しながら活動できたことは内容的に妥当であったと考える。1年生との交流が少し時間的にとりにくく十分とは言えなかったことは、今後の課題として学科全体で検討していくことになると思う。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

観客全員が参加できるためにはどうしたらよいかという基本を軸に、外部の方々への心配り、楽器運搬をはじめ会場作りにかかわる様々な作業などの学生の質問を教師も含め全員で共通理解しながら解決に向けて行動できたと思う。毎回の協働作業で積み残しがないように話し合いをもって進められたので大変好ましい雰囲気が保てたのはよかったと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

地域貢献という視点からも成果を上げることができ満足のものだったと考えられる。ただしキリスト教保育を核にもつ本学のあり方から考えると、ゼミ活動でもキリスト教について見識を深めることを取り入れたいと願っている。クリスマス礼拝への積極的な参加、クリスマス行事への理解などについては学科全体で方向性を深めることが今後の課題だと考えている。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるので学生は全員受講している。一年次の「こども学基礎演習」での学びを踏まえた上で、学生自らが様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し解決できるように指導を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な成績の平均は99点 (S-6) である。すべての学生がSを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、保育者として自己分析ができ卒業までの課題を発見し適切な計画を立てることができるようになっていた。					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「総合演習」に位置づけられており、卒業必修科目であるため受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、自己評価の達成率も4.8ポイントであったので、内容的には妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。また、図書館やインターネットの利用率が低かったので、積極的に利用するように促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。学生の意見がより反映できるように個別面談を行ったが、次年度は少人数制のゼミの良さをより生かせるように丁寧な指導を行っていきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育・教職実践演習(幼稚園)	2	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業直前の学生たちに対して、これまでの実習経験を生かし、保育実践に直接繋がる内容でシラバスを設定した。特に模擬授業について、今年度はペアでの実践では無く、学生個人で取り組めるようにした。模擬保育以外では、卒業生をゲストスピーカーに招いて一年目の働き方について学んだり、保育実践記録を分析するなど、保育現場で働くことを前提にした実践的な学びの機会とした。</p> <p>模擬保育は非常に教育効果が高かったといえる。自分の保育を振り返るだけでなく、他の学生の保育実践や学生同士での実践の振り返りの討議が学習への満足度を高めたとと思われる。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業評価アンケートの回答結果も全項目が4.3以上と総じて学生の満足度が高いという結果を得られた。</p> <p>模擬保育はクラス単位で行い、授業内での発言や提出物からも、保育者役・子ども役・観察者役などそれぞれの役割をこなすことで、それぞれ違った視点で保育についてとらえることができていたことがうかがえる。またこの授業を通して、保育の楽しさを改めて感じており（自由記述）、保育職への期待感や自信を付けることに繋がったととらえられる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CPとの関連性やカリキュラムマップにおける本科目の位置づけは妥当であり、卒業直前の学生が保育実践に生かすことのできる内容であると言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

模擬保育の時期や実践に関わる内容のグループワークなど、学生の参加度が高い内容は授業の前半に主に行ってきた。感染症対策の一環で、冬を迎える前に済ませるためである。今年度もまだ、落ち着いてきたとはいえまだ注意が必要な状況は続いており、授業スケジュールは22年度の予定を踏まえながら実施していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生の満足度も十分高く、このまま継続していきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育実習指導	1	4期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は幼稚園教諭免許状取得のために必要である「教育実習」と関連した科目であることを学生も理解している。そのため、免許状取得を目指す学生は全員受講している。</p> <p>同実習関連科目である「保育実習指導」との関連性も考慮した上で内講座を展開しており、入学時から全実習終了まで、さらには卒業後を意識したものとなっている。特に1年次は学外実習に出ることを鑑み、中学校・高等学校で経験した体験実習とは異なる保育者としての視点を持った子どものかかわりができるように指導している。前期には附属幼稚園での「見学実習」で観察の仕方、記録のまとめ方、考察の仕方の基礎を学び、後期は実際に観察を中心としながらも手あそびや絵本の読み聞かせなどの部分保育、保育者としての視点を持ちながらの子どもとの関わりが持てるようになることを目指して指導している。2年次は手作り教材の発表や短時間の指導計画を立てての実践、最終の実習では全日を実習生が担当する機会をなるべく持つなど、より保育者としての責任を持った実習を体験できるように指導している。授業では、これらの実習で少しでも学生が自己を発揮できるように、発表の機会や指導計画・日誌の添削、報告会実施による他者との学びの共有など、学生の学習準備性に合わせた授業計画を立てている。各実習終了時には個別の面談時間を設け、自己課題を克服できるように働きかけている。</p> <p>また、欠席した学生へは理由を考慮したうえで指導し、必ず全授業内容を補完するようにしている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は、平均点83.6点（最高点94点、最低点81点、A-21.3%、B-70.2%）である。実習訪問や実習園からの評価表においても、概ね高い評価を受けており、実習を重ねる毎に学生の課題が克服されているようである。本科目は2年間を通して開講されており、科目内での課題提出や教材研究の実践等学生の主体性が求められる。この結果から教育目標は概ね達成することができていると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

幼稚園教諭免許状取得のための必須科目であり、実習に必要な計画を立てているため、学生の受講意欲は高いと考えられる。また、DPを達成することができる様、他の科目との連携や学習の連続性を考慮しているため、内容的妥当性については問題ないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、全体、2クラス制、1クラス制など講座内容によって取り入れており、特に学生からの指摘はない。実習前の実践発表では、個別の指導を中心に行っているが、学生からは他の学生の実践を観ることが学びにつながっていることも示されている。これらの経験が、学外実習に活かされていると考えられることから、今後も学生の理解度や習熟度を鑑みたく、授業の進め方を組み立てていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。今後も他の関連する実習との整合性や授業の進捗状況による学生の準備性を意識した授業を展開して行けるよう取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅰ	1	通年	選択	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育所実習Ⅰ、施設実習Ⅰを対象とした実習指導であり、1年生の通年科目である。実習に向けての事前事後指導および、保育職の多様さ、他職種との協働を含めた保育現場への心構えの育成が授業の重点課題である。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>多くの学生到達度の自己評価が高く、受講態度もまじめに取り組んでいた。実習先からの評価も十分であった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

実習指導は、さまざまな科目により得られた知識と技術を実習で総合的に実践できるように支援するという位置づけであり、すべてのDPに関連する総合的な科目である。そのため、生活全般にわたるような自己課題の設定と振り返りなど、学生自身を見つめ直す機会となるような内容になっている。また、卒業後の進路とも直結する内容であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

複数の教員が担当している科目であり、教員間の連携が重要となる。また、他の実習指導担当者との連携を図る必要があり、授業外での打ち合わせの時間を確保した。受講生に対しては、実習の重要性やそれに伴う実習指導の重要性を繰り返し伝えて、受講態度の改善を図る工夫をした。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

感染症の影響で、保育所実習Ⅰを終えることができない学生もいたが、ほとんどの学生が実習を実施し、それぞれの園からの評価も概ね良好であったことから、実習指導としての目的は概ね達成できていると考えている。また、実習終了後の振り返りで、学生の学びを深めることもできていると考える。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅱ	2	通年	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育所実習Ⅱのための指導を行う科目であり、乳幼児の発達の特徴や保育士の役割の理解を深めるとともに、学生の生活技術や社会人としてのマナーなどを含めた指導と助言を行っている。実習先の多くは、保育所実習Ⅰの実習先であり、前回の実習よりもさらに充実した内容で実習できることを念頭においている。また、2年生での実習は就職活動とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講した学生のほとんどは、実習を無事に終了し、実習により児童福祉施設やそれを利用する子ども達への理解を深めていることから、教育目標を達成しているものと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容的妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは難しいが、実習生に対する実習園からの評価からは、おおむね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

保育実習指導Ⅰや保育実習指導Ⅲ、さらには教育実習指導との連携を密にし、過不足なく実習指導が行えるように、今後も内容の精査を重ねていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の実習中の様子や事後指導での様子から実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習園からは、多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つことが課題といえる。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅲ	2	通年	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>施設実習のための指導を行う科目であり、様々な児童福祉施設の特徴や役割の理解を深めるとともに、学生の生活技術や社会人としてのマナーなどを含めた指導と助言を行っている。また、2年生での実習は就職活動とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。今年度は、一部の学生が施設実習を学内演習で代替することとなり、その受講態度の指導もあわせておこなった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講した学生のほとんどは、実習を無事に終了し、実習により児童福祉施設やそれを利用する子ども達への理解を深めていることから、教育目標を達成しているものと考えている。学内演習を受講した学生についても、まじめな態度で熱心に受講している様子がうかがえたことから、本授業での教育目標を達成していると考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容的妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは難しいが、実習生に対する実習機関からの評価を参照したところ、おおむね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

保育実習指導Ⅰや保育実習指導Ⅱ、さらには教育実習指導との連携を密にし、過不足なく実習指導が行えるように、今後も内容の精査を重ねていく必要がある。また、感染予防対策については、適宜授業内容に取り入れていく必要がある。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示ください。

学生の実習中の様子や事後指導での様子から実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習機関からは、多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つことが課題といえる。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの保健	1	後期	選択	いいえ	53

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの回収率が低いですが、回答してくれた受講生達全員の「受講動機」は「資格取得に必要な」とであったため、資格取得に必要な科目である認識はしっかりと持ってくれていました。また、シラバスの予習の欄には、前もって読んできて欲しい教科書のページ数を書いています。今年度の受講生は、毎回該当箇所をしっかりと読んできて授業に臨んでくれている人が多かったことが印象的でした。第1回目の授業の際、例年よりも丁寧にシラバスの用い方の説明をしたことがつながっているのではないかと推測しています。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>トータル成績は、秀14%・優25%・良29%・可16%・不可16%であった。不可であった8名は再試験を受験し、1名最終成績評価が不可であった。昨年度と比べると、不可の割合が減り、数年ぶりに総合得点100点の受講生もいた。再試験受験者の8名のうち4名は、再試験100点満点中80点後半～90点を獲得しており、再試験にはなりましたが、本科目の修得して欲しい知識の獲得はできたと評価できます。最終成績評価が不可であった受講生は、本試験よりも再試験の点数が低く、本科目の内容を修得できたとは言いがたく、不可としました。今年度の受講生は、きちんとノート作成をしている人が多く、日頃からの学ぶ姿勢が良好であったと評価しています。授業評価アンケートも、知識の獲得の平均値が4.6、中央値が5.0と高値を示しており、本科目における目標達成度は、概ね達成といえるのではないかと考えています。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、知識の獲得が主たる内容であり、授業評価アンケート「2 到達度自己評価」での一番高い項目が「(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(平均値4.6、中央値5.0)であったため、受講生もDP 1 知識理解に重点がおかれている科目であると認識してくれていると分析しています。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度は、対面で授業を行えたため、受講生の表情等で授業をすすめることができました。また、ノート作成について、頻りに声掛けをおこなったため、多くの受講生は、溜めることなくできていたように思います。授業評価アンケートの自由記載でノート作成の負担を挙げていましたが、後々に受講生達に尋ねると、工夫して進めていたので負担にはなっていなかった、溜め込んだ人は負担だと言っているのだと思う、とコメントされました。ノートの満足度が高い受講生は、定期試験の点数も自分自身妥当だという点数であったようでした。今後も、受講生の理解度に合わせたスピードを心掛け、ノート作成については、頻りに声掛けをするように心がけていきたいと考えています。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今年度は、総合得点100点やそれに近い点数の受講生が複数名おりました。次年度もさらに成績評価が「秀」「優」にシフトしていくよう、受講生の理解度に合わせた授業をしていきたいと考えています。また、今期も最終成績で不可が1名出てしまいました。どうしても膨大な知識を得る授業であるため苦手とする(どう頑張っても試験の点数が取れない)受講生が出てくる、増えるかもしれません。そのような受講生のための対策を今後考えていきたいと思っています。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども家庭支援の心理学	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格のための必修科目であることから、学生の受講動機は資格取得のためである。学生による自己評価「学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均は十分に高い得点であったことから、意欲を持って取り組んでいた様子が分かる。授業の内容としては、基本的な知識と現場でそれを応用するための事例を用いた学習とのバランスに配慮しながら、1年生にとっても理解しやすい内容になるように留意した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>受講生の成績の平均点も高く、多くの学生が授業の目標を十分に達成しているといえる。また、達成度自己評価の各項目の平均値も十分な値であり、学生自身も目標到達の手応えを感じているといえる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1年生後期科目で、心理学的知識をもって子育て家庭を支援していくための科目である。「こども家庭支援論」などの福祉系科目と「教育相談とカウンセリング」といった心理学的な臨床実践に重点をおいた科目との橋渡しの役割を担っている。そのため、知識や考え方の基盤をつくることと、現場に即した学びの両方の要素が必要である。授業の構成としてもその点に留意している。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

2021年度は、リモートで実施し授業内容の動画をオンデマンドで配信した。2022年度は対面授業になり、学生とのインタラクションが容易になり、課題への取り組みも学生の様子を見ながら進めることができた。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお願いします。

学生の自己評価としても課題などに対する成績評価としても、十分な学習達成状況であった。次年度以降は、対面での授業としてさらに受講内容を充実させるようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもと人間関係	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>幼稚園教諭免許と保育士資格のための科目であるため、受講生の動機は、免許と資格の取得である。そのため、幼稚園教諭や保育士に必要な幼児期の人間関係について講義を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>複数の提出物から評価した受講生の成績は、半数の学生がA以上を取得しており、達成できているものが多いと判断できる。また、授業評価アンケートの達成度自己評価は充分に高く、受講生自身も達成できたと感じていることがうかがえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1年生後期科目であり、保育の5領域の1つである人間関係についての講義科目である。5領域の他の科目で講義する内容と照らして、過不足なくできるように配慮した。また、2年生で受講する「保育内容「人間関係」の指導法」の基礎になる科目であることから、講義科目でありながら実践につながるように配慮した。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

8回講義であるため、短時間で学生のニーズを配慮し、モチベーションを高めるような働きかけをしなければならない点が難しく感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

授業の目標は、概ね達成できたと考えている。また、授業評価アンケートから多くの学生が達成できていると実感していた。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもと表現	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>幼児の表現の世界に関心を寄せ、身体のような感覚を使ってその面白さや重要性を体験してほしいと考えた。そのうえで幼時の表現を受け止め、自尊感情を育て、幼児の発達を促すことができる保育者としての基礎を培うことを重点においた。保育士、幼稚園教諭を目指す学生は、将来のことを見据えてこの科目に取り組む姿勢が受講動機からも十分にうかがえた。8回講義という形なので、毎回の講義のテーマに即した表現活動を加えて、発表の機会をできるだけ多く取り入れた。学習の準備性は72%の学生が1回以上の準備を、68%の学生が復習をしていた。自由記述で、課題で精一杯で課題以外の学修ができなかったという記述もあり、関連書籍を読むなどの取り組みを促していくことが必要だと考えた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「幼時の表現の発達、それを促す要因について理解し、保育環境を考え、机上の学修に留めず実践する力につながることができた」という達成目標に達したという標準偏差の値が66.8%だったので、この科目は全体として教育目標は達成されたと考えられる。しかしAクラスとBクラスで評価の割合に差があることが少し気になった。発表の取り組みがクラスの雰囲気に対し影響を受けたのは、今後配慮していかなくてはならない点である。発表を避けることが多い昨今の保育科の傾向を払しょくするには、コロナ禍の消極的な意識を挽回するような身体を存分に使った活動を取り入れていくことが必要なのであろう。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は幼稚園2種免許、保育士資格にとって必要ではあるがそれらを取得しない学生も受講しているので、動機付けは一律ではないが、学生は幼児の表現の発達を理解しその重要性を生かした保育を考えるということに一定の成績を収めているので、内容的には妥当であったと考えられる。また到達度自己評価DP2「知識の確認・修正」では97%の学生が「まあまあそう思う」「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答しているので、内容的に妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価は「学生の質問を受け付け、それに応える機会が作られた」の項目で全くそうではないという回答が一人あって、そこだけが4.0を下回っていた。教員としてできるだけ時間を作って質問に答えたいつもりであったが、まだ十分でなかったという点が反省点である。情報利用については、61.3%の学生があらかじめ授業の計画を立てたと回答していた。8回授業ということもあり、終盤の紙芝居発表に向かっての見通しが立てやすかったためだと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

音楽的な表現にとどまらず、言葉による表現、美術的な手法による表現、身体的な表現、と様々な表現について学び、幼児の表現を受け止め、自尊感情を育むことの大切さを学生に知ってほしいというねらいをもって取り組んだ。本年度初めて開講された科目であるが、保育の現場で非常に大重要な分野であるので、教員も緊張感をもって授業計画を立て、実施した。「楽しかった」という感想も毎回聞かれ、学生自身の表現することへの消極的な面が、少しずつ払しょくされていくのが実感できた。さらに幼児の表現に共感し、心を育む活動にまで深めてくれるように、来年度以降も取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「環境」の指導法	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①資格必修科目のため、受講動機にはそれが反映されている。</p> <p>②今年度から設置された新規科目であり、前期の「子どもと環境」を受け継いだ内容で、演習や実技を中心にシラバスを組み立てた。できるだけ学生の関心や好奇心を高めるよう、授業回毎の関連を意識的に持つようにした。実技にあたっては、事前の準備の必要性も説明しており、また振り返り学習をその都度行うようにした。特に、グループ毎の「模擬保育」では、指定された時間内にスムーズに進行できるよう、企画準備を行うよう指導を行った。</p> <p>③単元毎にプリント課題を課し、学習の振り返りとまとめができるように工夫した。プリントやレポートについては評価の対象となることを説明し、大切を守って提出するよう促した。</p> <p>④外の環境で行う演習は季節の良い時期にできるよう早めに設定した。模擬保育は企画や準備が十分にできるよう後半に設定し、振り返りのための内容もその後の授業計画に盛り込んだ。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終成績の平均は75.9点、再試験該当者は3名であった。再試験レポートも提出した者は合格のレベルに達している。そのため、DP1の知識理解については「達成された」と捉えてよいと考える。</p> <p>授業内で課していた小レポートに関しては、単元毎に振り返りができるよう作成していたため、その都度の振り返りに関してはできていたと思われる。また「課題で十分理解できた」という記述も多く見られた。小レポートに関しては意欲関心につながるよう設定していた。</p> <p>実技やグループワーク、特に模擬保育ではDP5の技能表現を達成するよう設定していた。振り返りレポートから、実技の授業は好評であり、楽しみながら学ぶことができていたと思われ、「達成された」と評価できる。</p> <p>以上、2つのDPの達成度から鑑みると全体を通しては「達成された」と評価したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CPでは「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付いている。保育の5領域に関する内容を扱う科目であり、内容的に妥当であると考える。

DPでは「知識理解」「技能表現」を問うように設定している。演習科目であるため、学生の参加意欲をより引き出せるような工夫を行ってきたい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方について、教室に限らず、屋外環境なども用いて授業を行ったりした。実技の授業は学生が楽しみながら学ぶことができ、また模擬保育では各グループに異なったテーマを与え、それぞれに内容やグループ内での役割を工夫して実施できていたこともあり、環境遊びの技能向上につながったと考える。参加意欲を十分に高めながら、授業が進行できたと思われる。振り返りの学習も個人が十分に理解を深めることができていた。

評価基準に関して、プリントや期末レポートの評価を明示し、学生が達成度を自覚できるようにしていた。

予習復習に関してはほとんどの学生が、配布した課題プリントを行うことで十分だと考えていたようだが、実際には模擬保育等では事前準備や下調べも含めて学課外に行っており、そのことはあまりアンケートには反映されていない。一方で、授業内で触れた項目に関して「気になったことを自分で調べた」等の記述もあり、自発的に学習を進めた学生もいた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

保育の5領域に関わる内容であり、より具体的に体験的に学ぶ授業だと考えている。

これからも「環境」のとらえ方について様々な視点を持ち、日常的に保育環境への関心を持てるような教材の提供をしなければならないと考えている。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「言葉」の指導法	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、幼稚園教諭・保育士資格取得に必要な科目であるため、免許・資格を希望する学生は全員受講している。また、認定給本士養成講座の関連科目でもある。本科目は保育の5領域のうちの一つであるため、幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領などに則って授業を展開した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な評価は80.2点（最高点100点）である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの平均得点はA-80.9点、B-79.5点であった。得点の違いについては、本科目は、定期試験を行わず、評価レポート及び複数のレポート以外の提出物等を評価の対象としていた。レポートに関しては、早めに課題を出し、データの収集や内容の吟味を十分に行えるように配慮した。</p> <p>到達度自己評価は平均点は4.3もしくは4.4であった。ただし、「まあまあそうだと思う」と回答している学生が全体の2割程度いることから、内容理解の方法について具体的に伝える必要性を感じている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられている。言葉や絵本といった比較的学生の関心の高い科目でもあるため、受講に関しては比較的前向きな学生が多い。レポートの内容は授業を概ね理解した上で、各自が調べて作成されており、内容については妥当性があると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

演習科目のため、講義と併せて実践的な演習を多く取り入れた。様々な児童文化財（紙芝居、絵本、ペープサート、パネルシアター）は、講義を行った後、個人またはグループでの発表を行うことで、素材の意義を理解しながら取り扱いができるように配慮した。また、実習後は、実習で実践した読み聞かせなどを学生同士で語り合い、経験を振り返ることで、他者の学びを自己の学びとしても捉えられるよう授業を行った。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の「到達度自己評価」及び「授業の質評価」を見ると概ね授業の目標は達成できたと考えられる。今後は、学生の興味・関心に基づいた教材の提示や授業・実習での経験・実践に基づいた講義を効果的に展開することを心がけたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども音楽療育概論	1	後期	選択	いいえ	42

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①心身に障がいのある子どもたちに音楽の持つ様々な要素を使って発達の援助を行うことができる「こども音楽療育士」資格認定の基礎となる科目である。本年度は予想をはるかに上回る42名の受講生がいて、「資格習得に必要である」71.4%、「関心のある内容である」42.9%を受講動機にあげていた。</p> <p>②障がいの中で身近に感じている学生がいる一方で、障がいへの認識が希薄な学生も多く、導入時点では実際の障がい者への音楽的アプローチとして、療育でよく使われる楽器を使ってみたり、実際に音楽療育の場面で使ってきた視覚的な教材を示したりして、楽器習意欲を高めてもらうように努めた。療育的な楽器を手にとって実感したことで、障がいがあっても音楽を楽しむ場面を想定できるようになった。療育的なことに関する図書を紹介し、共に学ぶ姿勢を大切にしたい。障がいへの考え方、近隣の障害児・障害者施設に関心を持てるように、それらの役割や情報を十分に伝えるように努めた。障がい者スポーツをきっかけに日本全体がバリアフリーに関心を深め、施設建設や運営に生かされていく中で、保育士として、音楽を通して障がいのある子とかかわることを広い視野に立って実現できるようになってほしいことを授業中に伝えていった。また親への支援が重要であること、親と共感し合い、連絡を密にとりながら共に子どもを育てることが大切であることを知ってもらうためのグループワークを行った。</p> <p>③学生の意見を聞き、個人面談を行って、2年生前期の「こども音楽療育演習」、後期の「こども音楽療育実習」への意欲を喚起した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習到達度の自己評価が「知識の確認・修正・新たな獲得」の項目は4.3、「コミュニケーション力や表現力の向上」4.3という値が出て、学生自身が目標を達成したという手ごたえを持ったと考えられる。ただし、回答率は34.1%と低く、この授業評価だけでは実態をつかみきれないのではないかと不安が残った。</p> <p>②授業の中ほどの回でシラバスにはなかったが個人面談をしたことで、深い関心を持ち授業に参加する学生とあまりそうでもない学生の意欲の差を目の当たりにした。積極的な取り組みが他の学生にも良い刺激になる好循環を生んでほしいと考えたが、もう少し時間がかかりそうであった。</p> <p>③ノートを使って毎回の授業を記録することで、知識の定着がのぞめることを伝えた。専用ノートを作り2年生の「こども音楽療育演習」「こども音楽療育実習」につなげてくれることを願い、見通しを持った学修へつなげてほしいと伝えた。</p> <p>④活字の媒体は出版される時点で校閲などの検証が行われるのでそこから生まれる信頼性、逆にネット情報の危うさについて折あるごとに話した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①受講に際してシラバスを参考にした学生が回答者の35%と少数だった。受験時の面接で音楽療育に関心があり、そのために西南女学院を選んだという学生が何人もいたので、担当者としては身の引き締まる思いで臨んだ。授業評価の結果を見ると、あらかじめ授業の計画を立て、授業の開始に備えた学生は3分の1になっていたので、シラバスの活用を学生にもっと徹底する必要性を感じた。

②ネット上の情報は手軽で利便性があり、最新の問題点もあがっているのが、有効な面がある一方で、一部の意見だけで安易に障害について理解したように考えてしまわないことが大切である。図書館利用者が極端に少なく、その点を顧みていろいろな角度から問題点や方法を自ら調べる姿勢を養ってほしい。

③音楽は自分にとって心地よいものであると感じているが、障がいと結び付けて考えることがほとんどなかった学生が多く、数字には表れなかったがこの講義を通して毎日の生活の場面で、音楽のもつ力というものについて改めて考え、他者とのつながりのきっかけになるということを理解することができたという学生が多かった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

到達度自己評価の10項目のすべてが4.0以上の値だったので、概ね学生が理解できる正当な授業が展開できたのではないかと考える。私の専門分野でもある聴覚障がいへの関心という面から、実際に楽器に触れたり、楽器を通して他の人とかかわることへの取り組みが自由記述で指摘されていたように授業への取り組みの興味関心のきっかけになっているので、今後も私自身が研究者の目を養い、休むことなく学ぶ必要を強く感じた。日本音楽教育学会での研究発表はリポートを使つての音楽療育実習の検証について行い、そこで得られた他の研究者の方々の指摘も、今後学生に伝えていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学科共通の感想として（コロナ禍の影響が考えられるが）、学生気質は人の前で実演したり、目立つような行為はしたくないという気持ちが強く、消極的な面が心配されている。本講義でも、発表を嫌がる学生が多く、保育士という仕事の性格上、人の前に立つことは避けて通れないのだが、なかなか理解が得にくかった。そのことが払しょくされるような、講義中もお互いに意見を述べ合いう好ましい雰囲気がつくられるように今後も工夫を重ねていきたい。日常の保育の中で、障がいのある子どもも、そうでない子どもも、音楽の力を使って人間関係を築く場面を設定できる「こども音楽療育」という分野を、より積極的に学んでほしい。そのために障がいの多様性を知り、一人ひとりに適切なアセスメントを行い、保育士としてどの子どもも園生活が過ごしやすいように援助を行うことが、次につながる「こども音楽療育演習」「こども音楽療育実習」への橋渡しになる。こども音楽療育士を目指す学生たちが、障がいの厳しさと同時に、音楽の持つ人間への様々な影響力や、五感の中の「聴く力」というものに理解を深めることが、これからの学修につながると考える。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どものためのピアノⅡ	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>前学期に開講した「子どものためのピアノⅠ」から継続して段階的に演奏技能を習得していく科目であるため、本科目でピアノ演奏技能の習得を更に深めていくことができるよう、前期終了時に自主課題を提示することで夏季休暇中に予習復習ができるよう促した。</p> <p>個々のレベルに応じてピアノの演奏技能を習得していくことのできるよう、非常勤助手を含めた教員5名で各グループをつくり個人レッスンの形態をとっている。また、科目担当者の方では全学生の進捗を把握するために毎回少人数ごとに中間発表とグループレッスンを行うことで、発表の場を設けるだけでなく、学生からの質問を受ける機会を設けている。</p> <p>また、グループの偏りがでないよう、入学前までの学生のこれまでの音楽経験や、前期で履修した「子どものためのピアノⅠ」での課題の進捗状況をもとに、グループ内の個々のレベルを均等に分け、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は71.0点であった。（S-2人、A-18人、B-5人、C-4人、D-18人）本科目は保育において必要なピアノの演奏技能を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等の経験の異なりや、前期で履修した「子どものためのピアノⅠ」において習得した課題に応じて、学生によって本科目での目標の達成にばらつきが生じている。そのため、「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は4.1であるが、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.3とあり、保育者として必要な演奏技能を身につけるために個々のペースで取り組んでおり、技能表現に関する目標についてはやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許（選択）、保育士資格（選択）の科目である。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。</p> <p>DPに関しても「到達度自己評価」の「技能表現」において、約93%の学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。</p> <p>また、自由記述において「授業の課題以外に具体的に取り組んだ練習」の欄に「授業に関する伴奏方法を調べた」「自分が弾いてみたいピアノを練習した」「楽しかったから」等、意欲的に取り組む様子がみられた。</p> <p>以上のことにより、内容的妥当性に問題ないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>個人レッスンとは別に中間発表とグルーブレッスンの形態をとることにより、学生が発言しやすい場を設け、学生の進捗を把握し各担当教員との連携を図れるよう心掛けた。</p> <p>発表やグルーブレッスンを通して技能の向上や課題に対する意識を高めるだけでなく、他者の演奏を聴き客観的な視点から保育現場での演奏について考え、音楽を他者と共有することで気付きを得る時間となるよう進めた。</p> <p>「授業の質評価に」において全ての項目において全学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。しかし、「学習量の評価」については、0回・1回と回答した学生が約25%となっている。本科目は実技科目であり、ピアノの演奏技能習得のために最低でも1週間で90分以上は練習が必要と伝えている。今回課題を達成しなかったD評価の学生が多い原因のひとつとして学習量の少なさによるものが考えられる。今後は、学生が自ら予習復習に取り組めるよう課題内容の確認や練習時間の確保について丁寧に声かけをするとともに、分からない箇所は授業外でも質問を受け付けるようにオリエンテーションで確実に伝えていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況や、自己評価の技能・表現における結果から、概ね授業の目標は達成できたと考える。</p> <p>次年度では上記の授業の進め方を改善することで、学生がより意欲的に学ぶことができるよう授業環境を整えていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どものうたあそび	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①保育園・幼稚園・認定こども園の生活の中で、子どもが「歌う」場面は大変多い。子どもにとって「うた」は、信頼できる身近な人を懸命に見て、声を聴こうと感覚器官を働かせる。そして歌う活動の中には手足を動かし、声を出して、その時に表現できる方法で反応し、積極的に模倣しようとするうたあそびがある。歌はこどもの感性を刺激し、表現を促し、他者と感情を共有する経験を作る。季節や行事などの幼児の歌を声を合わせて楽しむことは、だれかと一緒にグループを作って遊ぶことに発展し、人とのかわりを促す。かわりをもつ中で楽しみを共有し、役割を担い、社会性を養う。保育者を目指す学生には、子どもたちにその時々によさわしい歌唱教材を選ぶ確かな目を養ってほしい。さらに、そうして身につけたレパートリーの中から歌の魅力を子どもにしっかり伝えることができるようになることを重点に、演習を取り入れた歌を学ぶ機会を十分に設けた。</p> <p>②受講動機は必修科目である77.3%、資格習得に必要50.0%と例年とあまり大きな差はないが、「関心のある内容である」というのが36.4%と年々低くなっているのが少し気になる。毎回の授業のテーマに沿ったたくさんの子どものうたを、積極的に練習し、発表し合い、聴き合い、互いの良い点を認め合う雰囲気の中で、活気のある活動を通して、幼児のうたあそびを学んでほしいと考えるが、別の授業感想の中で「人の前で発表することが負担」だという意見が8割以上を占めていたので、保育者になる学生の気質が少しずつ変わってきていることを実感した。シラバスには毎回の中心的な課題曲を提示し、既習曲の復習をすることを推奨したが、30分以上の準備をしたという回答が51%、30分以上の復習をしたという回答がわずか22パーセントで、自己練習の徹底が不十分であった。毎回授業で取り上げた歌を自分なりに身につけるために練習することは不可欠なことなので、それを徹底する工夫がぜひ必要であると考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
		やや達成された				

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①到達度自己評価見ると、特に「自分なりの目標を達成した」の項目で全員の学生が「かなりそう思う」「わりにそう思う」「まあまあそう思う」を選択していたので授業内容は適切であったと考える。知らないうたを知ることができたり、お互いを認め合えるよい雰囲気の中で動作を加えて歌ったりすることができて、それが「職業選択の参考になった」という評価につながったと考えられる。</p> <p>②それは授業評価の(4)「話し合う、発表するなどの学生が参加する機会がつけられていた」という項目でそうはおもわないと答えた学生が0人であったことから裏付けられる。</p> <p>③一人ひとりで歌う試験のほかに、友達と一緒に、友達の前で一人で、という場面も多く設定したので学生どうして助言し合うことも行われて、評価基準に不公平感が出てはいけなくと考えていたが、「評価基準は明らかであったか」の項目は全員が「まあまあそう思う」「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答していたので、授業の進め方は適正であったと考える。</p> <p>④日本のわらべうたや、伝統的なあそびうたについては歌ったり遊びを表現したりするだけでなく、その歌の背景や歴史的な事象を検証する課題を課したが、それでも図書館の利用は極めて少数で、手近なスマホに頼っている実態が浮かび上がった。ネット上は必ずしも正しい内容が記載されているわけではないことを伝える指導の徹底が今後も課題である。</p>
--	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

「うたあそび」は遊びの要素を内包した、歌う活動の総称と考え、歌は、こどもにとって「聴いたり歌ったりすること」そのものが楽しく、遊びの要素を含んでいると認識できる。「うたあそび」は、身体の動きとルールを伴い、遊びと言葉と音楽を一体化させたものである。子どもの歌は、いずれもあそびの要素を内包した「うたあそび」なので、この視点から見ると、課題曲の選曲、授業の進め方の両面において本講座はDP、CPの位置づけから検証し、妥当であったと考えられる。自由記述の学習量の評価で、「家庭で歌の復習をした」「課題の練習をした」という記述はきちんと上がっていたので、技能を高める努力をした学生は一定数いたと考えられる。ただし、近年、保育園ではピアノはあまり必要ないから、保育園に就職を希望するという声が聞こえるのが心配である。子どもの成長に大切な「うたあそび」による表現の活動が、社会性や、自己肯定感の確立を促すという面をしっかりと理解していけるように進めたい。

図書館には楽譜が大変不足しているが、図書の観点から楽譜は消耗品であり図書館では購入できないということなので、今後こうしたことが改善されていくことを望む。曲の説明のついているものなら書籍として認められているが、歌の本や器楽合奏、その他の楽譜を学生が手にすることができるようにするにはいつも私の個人のものを使用している。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価では、「評価基準は明らかであった」を「わりにそう思う」「かなりそう思う」を合わせると68%になり、「まあまあそう思う」を加えると94.5%になり、ペーパー試験が実施されない、発表による評価は基準があいまいになりがちなので、こうした結果が得られたのはよかったと考える。試験前に声量・音程・歌詞の理解・発音、曲への姿勢など評価の基準を明確に示したので、理解できたのだと思う。人前での発表に自信が持てない学生は緊張して力が発揮できにくいですが、そうした学生への励ましやアドバイスの言葉に細心の配慮をした。学生がこれからの実習や他の授業での取り組みに対して、保育者として子どもたちの前で明るく表現できるように支援をしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

支援の必要な子どもにも、そうでない子どもにも、興味・関心が持てるように心身の発達に応じて視覚支援教材を作って表現活動を考え、発表し合うことができた。お互いの評価では、遠慮がちな言葉も多かったが、「こういう工夫もできるかもしれない」というような、一歩踏み込んだ改善案もたくさん出てほしいと感じた。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学科専任教員がゼミ活動として担当する科目である。子ども理解や保育技術の向上、「認定絵本士」の養成指定講座も含んだ授業計画を立てた。前期は学生とゼミ教員との間に信頼関係ができるよう、また学生同士が懇親を深められるような内容を工夫し授業を行った。後期は学生の希望を取り入れた活動を中心に行った。コミュニケーションゲーム、喜久屋書店看板づくり、小麦粉粘土作りなど学生がゼミ活動の内容を決め主体的に活動できるようにした。「認定絵本士養成指定講座」では、特に絵本への親しみが持てるよう担当教員からも積極的に助言を行いながら授業を進めた。学生は少人数のグループで、各自の役割分担と協力の体制が取れるよう指導を行ってきた。</p> <p>卒業必修科目であるため、学生の受講動機は明確である。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>欠席した学生は少なく、全員が「秀」の成績を得ている。学生の自己評価について、回答した学生が1名だったがDPは達成されたと考える。ゼミ単位での活動では、学生同士が懇親を深められるよう、また学びや活動が楽しいと思えるような工夫を行ったため、学生の学習態度も良かったと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門教育科目」の「総合演習」に位置付いている。6-8名という少人数の単位で、仲間意識を高めながら自発的に企画運営を行う内容であり、また保育者としての専門性も求められるため、内容は妥当であると考えられる。またDPに関しても、保育者として必要な態度を形成することが求められ、自分たちで考えた内容を準備し実行するなど、DPについても妥当であると考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の自発的活動や発言をできるだけ尊重するよう努めたが、一年生で十分な経験が無く、こちらがアイデアを提供し、そのアイデアに基づいて学生がそれぞれ工夫する、という進め方が多かった。科学遊びや工作などゼミの時間が学生にとって学習意欲の向上となるだけでなく、人間関係を広げたり深め、学生生活を前向きに送れるような機会になりえることを実感することができた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

23年度はより学生とのコミュニケーションを深め、仲間意識を高めて、学生生活の満足度が上がるようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子ども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年生のゼミ活動は、年間の予定があらかじめ学科で決められているので、ゼミ独自の活動は限られた回数にのみになったが、前期の5月には小倉勝山公園内の平和祈念館、及び子ども図書館に向向いて、小倉の町の施設についての見識を深めた。平和祈念館は職員の方による丁寧な説明、西南女学院から寄贈された貴重な戦争前後の写真なども展示されていて、大変印象深い体験をすることができた。子ども図書館ではこれから始まる認定絵本士資格の勉強への大きなきっかけ作りとなり、各々が充実した時間を過ごすことができた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学修のための情報利用はインターネットを通じたものが多かったが、実際に子ども図書館に行って多くの絵本に接したり、平和記念館で、職員の方々の平和への強い思いに触れたことは、これから保育士として仕事をしていくうえでの、スタートにふさわしいものだったと考えられる。</p> <p>また、市民カレッジに向けたミュージックパネルの練習をしていく過程では、ゼミ生どうしの親睦も生まれ、協働作業の成果を感じられた。自主的によく活動し、全体の流れをを考えて意見を出し合いゼミとして団結して一つの演目を作り上げる姿が見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>年間授業計画は学科で立てられていて、内容的には全教員の共通理解に基づいているが、学生の主体性によって、新入生研修やお話し発表会を進める。本年度は大変積極的に取り組んで、方法や手順を教師が示すこともほとんど必要なく、発表会まで進めることができた。秋に関するの絵本やピアノ曲の練習、歌の選曲などは相談に応じて練習のアドバイスをを行った。「専門分野に必要な技術を身につける」で「わりにそう思う」「かなりそう思う」が75%で、音楽的なことに少し偏ったためかと考えた。歌うことが得意な学生が複数人集まったことは意欲向上と、身体表現を楽しむという観点から大変良かった。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>西南女学院創立100周年という記念すべき年であったので、市民カレッジへの参加は地域の方々と触れ合うことができる貴重な機会となった。普段はなかなかコンサートホールに行くことができない乳幼児やお年寄りに手軽に音楽を楽しんでいただけるようなコンサートを保育科のゼミ活動で行うことができた。今後井堀地区に文化の香りを届けるという目標をもって、学生自身が試行錯誤しながら活動できたのではないかと願っている。</p>
--	---

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総合的評価と課題をお願いします。</p>	<p>後期のお話し会での発表に向けた活動は、ゼミ生全員でとても積極的に仕上げていて感心した。しかし到達度自己評価は全員が全ての項目で「まあまあそう思う」を選択していて、この科目の目的が今一つ自己目標値と合致したものとはいえなかったのではないかなと思う。他のゼミとの交流、2年生のゼミ生との交流がもう少し余裕をもって出来るようにすることが、解決の糸口になるのではないかと考えられる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子ども学基礎演習	1	通年	必修		6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。一年を通して、他者と協働する力や短大生としての基礎的能力を高められるように授業を展開している。全体での活動では、認定絵本士に関連する講座として、ブックトークやおはなし会、図書館オリエンテーション、いのちのたび博物館による地域施設を知る講座などを展開し、ゼミごとの活動では保育に関連するさまざまな活動として、カブラの体験や喜久屋書店に関連しての看板作成や2年生おはなし会への参加などである。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均94.2点（最高点99点）である。全員がA評価であり、目標はほぼ達成されたと考えられる。「到達度自己評価」では、平均値が4.6～4.8の間であり高いといえる評価となった。学生自身がゼミを通して学びを深め意欲的に取り組んできたことがわかる。今後、ゼミのあり方をさらに工夫することによって、さらに内容を深化できるのではないかと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は各科目で学んだことを意識しながら、保育に関する学びを深められるよう配置された科目である。「受講動機」に関しては必修科目であるためであるが、「到達度の自己評価」をみると、学生は各取り組みの中で求められていることを理解しながら課題を達成できたのではないだろうか。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業では、壁面看板の作成やコミュニケーションワークなど、学生同士が協同しながら進められる内容とした。そのため、ゼミ長・副ゼミ長を中心に取組が進められ、それに伴いゼミ生同士の学びあいが深められたようであった。授業の質評価は4.2~4.4であり、例年と同程度であった。次年度はより学生が相互に意見を出し合えるような働きかけをしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標が達成できたと考えられる。「評価」については、適切な範囲で学生が意識できるように説明し、次年度も学生自身が考え、主体的に参加できる授業になるように心掛けていきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、必修科目だから履修している学生がほとんどであり、1年生を少人数グループに分け、アドバイザー制度とリンクしながら、学生生活や学習態度についても指導することが授業の目的である。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	学生の到達度の自己評価は概ね高い。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

専門科目への導入科目であり、初年次教育の位置づけである。授業内容は学科で検討されており、妥当な内容であるといえる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前期の活動では学生同士のコミュニケーションが充実するように配慮した。また、個別面談なども取り入れ、知識を伝えることだけでなく、授業の中でアドバイザーとしての役割を果たせるように工夫した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

授業内容は妥当であり、学生の達成状況も充分であるといえる。今年度は、10名以下での受講であったため、より細やかな指導やフットワークの良い活動が出来たと考えている。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケート「1 受講動機」の回答を見ると、「必修科目である」と回答されているため、本科目の位置づけをしっかりと理解して受講してくれたことがわかります。この科目は、ゼミ活動と絵本士養成講座の内容が混在しています。ゼミ活動では、途中、授業の中での対人関係のトラブルがゼミ活動にも少し影響し、欠席がちになった人達も見られ、少人数であることの弱点が浮きぼりになってしまいました。しかし、卒業必修科目であることは忘れておらず、どうにか、単位は全受講生修得できました。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない				やや達成されなかった	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価は、半数は「秀」でした。お友達関係でのトラブルに関与していない受講生3名は、出席率も良好であり、活動も積極的にしていました。お友達関係でのトラブルの影響を受けていた受講生は、それぞれに対応した結果、「ゼミ」としての集団での取り組みは難しかったところではありますが、個別の活動は皆真剣に取り組むことができていました。2回、2年生ゼミと一緒に市民センターの活動に参加しましたが、実際の子ども達と関わる活動では、全員が生き生きとしていました。成績は、絵本士養成講座のレポートや課題の評価を含むため「秀」が50%でしたが、ゼミ活動として個人の取り組む姿勢を見ると、実際のトータル評価より印象的に高評価です。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業評価アンケートの回答率が低いですが、「2 到達度自己評価」の平均値及び中央値が高値の項目が、「(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「(4) 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」であり、本来のこの科目のDPの位置づけ項目が「(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた」だけが高値であり、受講生の達成感と乖離していたことがうかがえます。今年度は残念ながら、内容的妥当性があるとは言いがたいと評価しています。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

途中、1年生のお友達関係のトラブルによって、ゼミ内にも影響が出たため、「ゼミ」という単位ではなく、個人対応でおこなっていました。私としては、非常に戸惑うことも多く、不安を感じていました。しかし、どうにか、「大学を辞めたい」と申し出ている学生さん達を、居場所を作ったり、モチベーションを高めたりすることができ、今では、新たな仲間達と共に学生生活を笑顔で送れていることに安堵しています。しかし、科目本来の目指すべき内容が十分できたかと言えば、不十分だと感じています。今後、コロナによって高校生時代十分に対人関係の体験をしてきていない入学生が入ってくる可能性も高いため、今年度の反省を活かして対応していきたいと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

例年通りの達成感を得ることができませんでした。対人関係トラブルが生じた時の対応が困難な学生達が増えてくると考えると、今まで問題なく進めていた「ゼミ活動」も「いつも通り」という観点は捨てて、一人ひとりに焦点を当て、それぞれにあった対応でかつ集団で活動できるように、こちら側が創意工夫していかなければならないと思っています。次年度は、常に学年の様子をしっかりと把握して、先々に対応できるようにしていきたいと思っています。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども学基礎演習	1	通年	必修	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講動機は次の通り。①必修科目である100%、②資格取得に必要なものである100%、③関心のある内容である33.3%、④単位数を確保する33.3%。 ・学科における必修科目である。 ・少人数の利点を活かし、参加者相互の意見交換が活発に行われるよう演習形式で進行した。 ・グループワークを多く行い、能動的な姿勢を促した。 ・参加者各自が授業や学外実習から得た知見をグループで共有することで、事象の多面的な捉え方を促した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験を経ての成績評価は、平均82点/100点であった。再試験対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.7で最も高いスコアであった。 (8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.3で最も低いスコアであった。 (10) 職業選択の参考になった。

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

- ・学科のDPの態度（DP4）、技能表現（DP5）の基礎部分を担う科目として開講している。
- ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ・授業の質評価の5項目についてのスコアは4.7~4.3であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。
- ・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。
- ・演習における各自の課題のための調査等に図書館を利用しているが、さほど自覚されていない。これは、授業中に全員で図書館に向かうなど明示的・統一的な行動を「図書館の利用」と認識しているためと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

- ・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。
- ・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。
- ・図書館を授業中に明示的・統一的に利用する活動を取り入れる余地があると考ええる。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。2年間の短大での学びの動機づけや保育者・社会人として必要な基本的スキルを身につけるために、学生が主体となって考えられるように工夫した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は87点（S-1、A-4）である。すべての学生がS・Aを取得していることから、目標は達成されたと考えている。授業評価アンケートの結果（自分なりの目標を達成した4.8ポイント、コミュニケーション力や表現力を高めることができた4.8ポイントなど）から、シラバスにある理想的到達レベルに達し、教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は保育科の必修科目である。少人数のゼミ方式で、保育者としての「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」等を段階的に身につけるために、学生が主体となって活動を進めた。子どもたちが楽しめる遊びや運動を、対象に合わせて計画を立て実践したうえで自ら課題を見つけ改善していく姿が見られた。自己評価の達成率も4.8ポイントであったので、内容的に妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教員が提供した活動については積極的に取り組んでいたものの、学生自身が活動を提案する機会が少なかったため、学生自身が主体的に考えることができるようにしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

授業評価アンケートの結果（自分なりの目標を達成した4.8ポイント、自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた4.2ポイントなど）から、全体的には授業の目標は達成されたと考えられる。しかしながら、個人については課題が残っていると思われるので、個人面談などを積み重ね、少人数制のゼミの良さを生かせるように検討したい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子ども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、子どもや保育に対する理解を体験を通して深め、将来の保育者としての実践力を身に付けることを目的としている。保育者に必要とされる基本的な力を養うため、丁寧な個別対応を心掛けた。また、学生が主体的に考え行動できるよう意識的な働きかけを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、レポート、課題発表、授業への参加態度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均96.8点であった。学生の到達度自己評価「(1)自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.8点(かなりそうだと思う80%、わりにそうだと思う20%)であり、目標は達成されたと考える。「態度」については、「(9)職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた」の平均値が4.4点であり、目標は達成されたと考える。「技能表現」については、「(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.8点、「(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値が5.0点であるため、目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「専門教育科目」における「総合演習」であり、保育者に求められる基本的な力を養ううえで基底に位置づけられた必修である。
DPに関して、「到達度自己評価」における「態度」および「技能表現」を示す項目で、全ての回答者が「わりにそうだと思う」以上の肯定的評価をしている。
以上から、内容的妥当性に問題は無いと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

ゼミ活動では、学生が発言しやすい環境づくりや個別的なサポートなどを行い、学生が主体的に取り組むことができるよう支援した。また、学生同志が積極的に交流できる機会をできるだけ多く設けることで、コミュニケーション力や表現力の向上を意図した取り組みが展開できたのではないかと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

生の評価結果から、本科目の学習目標は全体的に達成できたと考える。本科目は保育者に求められる基本的な力を養うことを主眼としているため、学生個々の主体性、自律性等を高めることは重要な課題となる。これからも保育者として必要となる資質や能力の向上を目指し、引き続き、授業の見直し、改善に取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実務家教員としての経験を生かしながら、保育の仕事に興味関心を深めるとともに学生生活も充実させることができるように留意し、学生の主体的な活動が実践できるようにサポートしていった。 ・ほとんどの学生が保育の現場で勤務することを想定し、昨年度の改善点を反映させながら実習や就職した現場で役立つ内容を学生に選択肢として投げかけ、それを参考に学生が自主的にゼミ活動の実践計画を立てるように指導した。 ・また学生それぞれが自己を適切に表現して活動に参加できるように留意した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通しては、おはなし発表会等の企画に取り組み、学生同士で協力しながら企画、準備、実践を行うことで多くの学びがあったと思われる、有意義な活動になったようだ。 ・また活動を通して学生同士の交流もでき、お互いに助け合う関係が構築できたようである。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、学生が希望した活動が制限され、計画の変更を余儀なくされることが多かった。自分たちで立てた計画が順調に進まないことから意欲が減退し、お互いに遠慮して積極的な意見が出ないこともあり、その都度教員のサポートが必要であった。 ・お互いに遠慮して積極的に意見を出せず、色々な意見を出し合って調整していく作業が難しかった。そのために教員が主導する形になることが多く、学生の主体性を十分に伸ばすことが難しかった。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・本科目は、専門科目の「総合演習」の科目で、他の科目で知識や技能を学んだものをもとに、学生相互で協力しながら演習を行う必修科目である。学生が主体的に行動を起こすまで苦慮する面はあるが、保育者を目指すものとして得た知識や技能を生かし、協働しながら活動ができています。内容的には妥当であると考えます。

・活動が順調に進まない時期の意欲の減退があったが、教員のサポートにより実践していく中で、学生の主体的な学びが大切であることは伝わったと思われる。よって、内容的妥当性に問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・昨年度同様に、学生の自主性や主体性を尊重しながらのサポートを心掛けた。新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されたり、計画が順調に進められなかったりしたことにより意欲が下がる時期があったが、最終的に学生相互で協力しながら活動を行うことができたと思われる。

・しかし、教員が主体となって意見を引き出すことが多く、学生の自発的・自主的な活動としては、十分とは言えない部分があった。学生の主体的活動を引き出すための具体的な工夫が必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成されたと思われる。これまでの経験を踏まえて活動が制限される状況であっても内容を工夫し、失敗や挫折も次の経験に活かせるように、学生の意見を引き出して主体的な学びを促す授業を心掛けたい。